キャラクター名
ラーレ = ミルデンブルク

プレイヤー名

種族	ダークトロール	種族特徴	暗視/弱体化/体躯/弱点(魔法+2)		
生まれ	戦士	性別	女	年齢	45歳
冒険者Lv	10	経歴	第三の剣の神に入信を迫られたことがある		
経験点	2200		人族研究をしている		
			一族に追われている		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	9	器用度	10	11	6	36 + 5	6
		敏捷度	4	4		17 + 1	3
体	14	筋力	8	20	12	54 + 5	9
		生命力	14	15	1	44	7
心	7	知力	5	6		18 + 1	3
		精神力	6	8	1	22	3

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	10		
プリースト/マキシム	10		
レンジャー	9		
セージ	4		
エンハンサー	10		

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	10	16	13	19
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	ミルデンアーマー		59	-2	18
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					4
回避技能	ファイター		合計値	11	25

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ミルデンブレイド この武器を用いた攻撃は、刃のついた武器ではクリティカルしない相手であってもクリティカルが発生 威力40分を+8へ	2H	59	1	2d+ 19	10	31	100										
				2d+													
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
蛮族携帯セット	○□□○□□
保存食一週間分	○□□○□□
薬師調合キット	○□□○□□
救命草x25	○□□○□□
トリートポーションx25	○□□○□□
マジックコスメ	○□□○□□

3点魔晶石x125	○□□○□□
月光の魔符+2x25	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 23200 G　預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	20 m	60 m

回避	防護点
2d+ 11	25

HP
119

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 7	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 19	2d+ 17

MP
52

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	10	13			

戦闘特技			
タフネス	2122p	武器習熟S/ソード	1-281p
治癒適性	2122p	防具習熟A/金属鎧	1-282p
不屈	2123p	防具習熟S/金属鎧	1-282p
ポーションマスター	2123p	ブロッキング	2-230p
全力攻撃	1-286p		p
武器習熟A/ソード	1-281p		p
頑強	1-279p		p
超頑強	2-228p		p
魔法拡大/数	1-289p		p
なぎ払い	1-288p		p
命中強化	2-230p		p

言語	会話	読文
巨人語	○	○
交易共通語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔法文明語	○	○

装備品		説明
頭	叡智の魔紋	
耳	マキシムの浄化された聖印	どこでも神聖魔法使用可能
顔	宗匠の魔紋	割る用
首	子熊の爪	マッスルベアーの効果を+1
背中	野伏のイレブンマント2	生命・精神・生死+2
右手	イレブン式宗匠の腕輪改三	イレブンシリーズ3つあるので生命・精神+1
腰	ブラックベルト	
足	疾風の魔紋	
その他	真の信念のリング	

装備品		説明
	宗匠の魔紋	割る用
左手	イレブン式怪力の腕輪改三	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
マッスルベアー	
ビートルスキン	
アンチボディ	
ジャイアントアーム	
メディケーション	
リカバリィ	
デーモンフィンガー	
トロールバイタル	
タイタンフット	
ヘルシーボディ	
軍師の知略	

名誉アイテム	点数
人族以上に人族	
武具装飾品*2	200
アゴウ重鎚破闘術	50
重破・骨喰み	20
魔紋合計	70
イレブンマント	720
巨人の服屋	
幸運	
イレブン便利グッズ	
加重・全力攻撃	
加重・重破・骨喰み	
名誉点 所持 632 /合計 1692	

その他メモ

ディルフラム北部、13魔将が1人、"武王"ゴルバーンが納めるトロール達が住む土地の出身
元々自分のやることに迷いがなく、後悔しない性格であった為、刃神マキシムから声をかけられる。当時は他の同胞達と一緒にダルクレムを信仰していた為、それなりに悩んだ。それまでバルバロス以外の種族や神について深く考えたことがなかったので、ひとまず奴隷を観察してみることに
その時期にとある奴隷の少女が泥を顔に塗塗っているではないか。どうしてそんなものをと聞けば、目立たないようにしているという。それに遠い地では化粧用の泥もあると聞く
聞いてしばらくは身なりを綺麗にして何になるんだと思っていたが、その少女は綺麗になると幸せに感じるとも言った……どうにも理解が出来ず、過ごしていたある日、ふと思い出す。己が尊敬しており、いつか身につけたいと思っている流派アゴウも部族を裏切って人族側についた。それ程までに人族には魅力があるのだろうか？
大いに悩んだ末、人族とバルバロスが最も近い場所、プローディ王国に身を移すことに決めた。見極め、自分の力にする為に……巨体で驚かせないようマジックコスメの為にブラックベルトも売ってしまった。後々幹部昇格時に買い直した

自動失敗チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟